
第 37 報 平成 24 年 6 月 19 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【コンクリート用砕石 いわき】

今年度は、出荷数量が前年度比 2 割強程度の増加見込み。今後は港湾工事が本格化するため、休日等も稼働する体制をとるメーカーが多い。

メーカー側は、備車代、燃料費の高騰から 5 月出荷分より 250 円/m³ の値上げを打ち出しており、市況は上伸している。

【ストレートアスファルト】

J X エネルギー仙台製油所およびコスモ石油千葉製油所とも復旧しており、供給体制は震災前の状況に戻っている。被災地域では需要が盛り上がっているが、関東以西の需要は伸び悩んでおり、結果として需給は均衡している。

市況は、3 月末まで続いた原油高による調達コストの上昇を背景とした値上げが浸透し、全国的に上伸した。先行き、国際原油価格が下げに転じていることから、国内調達コストの下落も見込まれ、弱含み横ばいの見通し。

【港湾工事市場単価・鉄筋工】

懸念されている鉄筋工等技能労働者不足については、復旧工事のほか新幹線工事も重なり、大きな改善の兆しは見えない。しかし、施工業者は遠方から調達するなどして労働者確保に努めており、現在はやや落ち着きを見せている。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P80~)	青森県	八戸	—	1万2,900円	6月15日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 6月号	1,000円/m3上伸 1万4,550円	6月15日	昨年末からの生コン需要の急増に伴い、各工場は運搬車両の増車・人員の増員で対応。各メーカーでは、コスト上昇分を販売価格に反映。需要家も価格面より納期・工程を重視し、値上げが浸透。積算資料6月号でm3当たり1,000円上伸し、建築標準物(21-18-20)で1万4,550円となった。 今年度は災害復旧需要に対し、供給不足が懸念されており、各メーカーの販売姿勢は強い。	ひっ迫	強含み
		大船渡	—	1万4,400円	6月15日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万3,500円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	—	1万4,300円	6月15日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 6月号	1,500円/m3上伸 1万1,000円	6月15日	地区協同組合では、原材料費・輸送コストの上昇分を転嫁すべく、平成24年1月以降の契約物件については建築標準物(21-18-20)で販売価格をm3当たり1万1,000円以上とすることを表明。組合・販売店の売り腰は強く、値上げが浸透。積算資料6月号でm3当たり1,500円上伸し、建築標準物(21-18-20)で1万1,000円となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万2,700円	6月12日	今年に入り本格的に復旧工事が始まり、需要は増大。被災したプラントの修繕費、生コン車の新規購入費、骨材の値上げ、燃料の高騰を背景に石巻協組ではm3当たり500円の値上げを実施。販売側の売り腰は強く、一部が受け入れられ積算資料6月号でm3当たり300円上伸し、建築標準物(21-18-20)で1万2,700円となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万4,200円	6月12日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	—	1万4,700円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P82~)	宮城県	亘理	2012年 6月号	1,900円/m3上昇 1万3,000円	6月15日	地区協同組合では、原材料費・輸送コストの上昇を転嫁すべく、年末頃からの契約物件については建築標準物(21-18-20)で販売価格をm3当たり1万3,000円以上とすることを表明。組合・販売店の売り腰は強く、値上げが浸透。積算資料6月号でm3当たり1,900円上伸し、建築標準物(21-18-20)で1万3,000円となった。4月以降の新規物件についても値上げ交渉を継続している。	ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万2,700円	6月12日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	—	1万4,700円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	—	1万1,000円	6月15日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2012年 4月号	500円/m3上伸 1万3,000円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生クラッシュ ラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	—	1,700円	6月15日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	—	1,900円	6月15日		ひっ迫	強含み
		久慈	—	2,300円	6月15日		均衡	強含み横ばい
		釜石	—	1,900円	6月15日		ひっ迫	強含み
		仙台	2011年 11月号	1,400円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2012年 6月号	200円/m3上伸 2,000円	6月12日	震災関連の復旧工事向けに道路用砕石の需要増に加え、1月から生コン用骨材の需要も本格化し、需給はひっ迫している。ガレキ撤去にダンプを取られ、ダンプ不足の状況は変わらず、県外からの応援を頼んでいる砕石メーカーも多い。運搬費と燃料費の上昇を理由に、昨年度に引き続き各メーカーとも値上げ交渉を実施、一部が浸透している。	ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	100円/m3上伸 2,500円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	2,200円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2012年 5月号	200円/m3上伸 1,600円	6月15日	従来は仙台地区と同一の市況圏であったが、震災以降は状況が変化。亶理地区の再生砕石メーカー数は仙台地区の半数以下であるうえ、コンクリート廃材等の在庫量がひっ迫しており、在庫に多少余裕がある仙台地区とは供給状況に差異が生じている。仙台地区からの持ち込み量も減少しており、価格は強含みで推移。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生クラッシュ ラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	宮城県	松島	2011年 11月号	1,700円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	2,400円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	6月15日	今年の1~3月には港湾作業用道路工事関係でかなりの出荷量があり、今後も常磐道の工事等で、昨年度比増の出荷数量が見込まれる。価格の面では備車代、燃料費の高騰から5月出荷分よりメーカー側が打ち出した250円/m3の値上げ要請がほぼ浸透した。	ややひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	—	1,900円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P171~)	青森県	八戸	—	3,300円	6月15日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	500円/m3上伸 3,500円	6月15日	災害復旧関連工事が一斉に発注される中、骨材の需給は一段とひっ迫。各メーカーは運搬車両不足・燃料高騰から、コスト上昇分を製品価格に転嫁するべく需要家と交渉。メーカーの販売姿勢は強く、購入側も価格より納期を優先する場面が多く見られ、砂・碎石ともに価格は強含み推移。 生コン用骨材に関しては、今年度発注予定数量に対し、骨材生産量が不足することは確実な状況で、県外や県内内陸部から骨材を調達する動きもみられる。	ひっ迫	強含み
		大船渡	—	3,100円	6月15日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,300円	6月15日		ややひっ迫	強含み
		釜石	—	3,150円	6月15日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P171~)	宮城県	仙台	2012年 3月号	200円/m3上伸 2,600円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,000円	6月12日	震災関連の復旧工事向けに道路用砕石の需要増に加え、1月から生コン用骨材の需要も本格化し、需給はひっ迫している。ガレキ撤去にダンプを取られ、ダンプ不足の状況は変わらず、県外からの応援を頼んでいる砕石メーカーも多い。運搬費と燃料費の上昇を理由に、昨年度に引き続き各メーカーとも値上げ交渉を実施、一部が浸透している。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	6月12日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 4,300円	6月12日	震災以降、被災地への応急復旧工事向けに主に道路用骨材を中心に出荷量が増加。今年に入り、生コン向けの出荷も増加した。運搬費と燃料費の上昇を理由に、昨年度に引き続き各メーカーとも値上げ交渉を実施し、一部が浸透している。	ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2012年 3月号	200円/m3上伸 2,600円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 3月号	200円/m3上伸 2,600円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 4,300円	6月12日	震災以降、被災地への応急復旧工事向けに主に道路用骨材を中心に出荷量が増加傾向。今年に入り、生コン向けの出荷も本格的に始まった。運搬費、ダンプ単価、燃料費の上昇により各社値上げを実施し、一部が浸透している。	ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	6月15日	工事の発注が遅れているため、荷動きは鈍い。しかし6月から小名浜港湾の工事が本格化する為、相当な数量の出荷が見込まれている。価格の面では傭車代、燃料費の高騰から5月出荷分よりメーカー側が打ち出した250円/m3の値上げ要請がほぼ浸透した。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い)	福島県	南相馬	—	3,500円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm 骨材 単位:m3 (P171~)	青森県	八戸	—	3,600円	6月15日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	—	—	6月15日	今年度発注予定数量に対し、粗骨材(砂利)生産量が不足することは確実な状況で、県外から骨材を調達する動きもみられる。	ひっ迫	強含み
		大船渡	—	3,100円	6月15日		ひっ迫	強含み
		久慈	—	3,200円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	—	3,150円	6月15日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 3月号	200円/m3上伸 3,100円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,100円	6月12日	震災関連の復旧工事向けに道路用砕石の需要増に加え、1月から生コン用骨材の需要も本格化し、需給はひっ迫している。ガレキ撤去にダンプを取られ、ダンプ不足の状況は変わらず、県外からの応援を頼んでいる砕石メーカーも多い。運搬費と燃料費の上昇を理由に、昨年度に引き続き各メーカーとも値上げ交渉を実施、一部が浸透している。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	6月12日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	6月12日	震災以降、被災地への応急復旧工事向けに主に道路用骨材を中心に出荷量が増加。今年に入り、生コン向けの出荷も増加した。震災以前は、出荷量が少ないことから気仙沼の砕石メーカーのみが供給していたが、震災後は、登米地区からも気仙沼地区への出荷が見られている。 運搬費と燃料費の上昇を理由に、昨年度に引き続き各メーカーとも値上げ交渉を実施し、一部が浸透している。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 骨材 単位:m3 (P171～)	宮城県	亘理	2012年 3月号	200円/m3上伸 3,100円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 3月号	500円/m3上伸 3,400円	6月15日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	6月12日	震災以降、被災地への応急復旧工事向けに主に道路用骨材を中心に出荷量が増加傾向。今年に入り、生コン向けの出荷も本格的に始まった。震災以前は南三陸地区にプラントを持つメーカーが供給していたが、震災により現在休止中のため、今は登米地区の砕石メーカーが納入している。 運搬費、ダンプ単価、燃料費の上昇により各社値上げを実施し、一部が浸透している。	ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	6月15日	今年度は、出荷数量が前年度比2割強程度の増加見込みで、需給はひっ迫。今後は港湾工事が本格化するため、休日等も稼働する体制をとるメーカーが多い。 価格の面では、メーカー側は、備車代、燃料費の高騰から5月出荷分より250円/m3の値上げを打ち出しており、市場にほぼ浸透した。	ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	—	3,200円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動 (2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2011年 10月号	700円/t上伸 1万2,100円	6月15日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2011年 8月号	1,000円/t上伸 1万3,200円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2011年 8月号	800円/t上伸 1万2,400円	6月15日		ひっ迫	強含み
		久慈	2011年 8月号	800円/t上伸 1万2,900円	6月15日		均衡	強含み横ばい
		釜石	2011年 8月号	800円/t上伸 1万2,500円	6月15日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2011年 8月号	600円/t上伸 1万1,000円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2011年 8月号	600円/t上伸 1万1,300円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2011年 8月号	600円/t上伸 1万1,600円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2011年 8月号	600円/t上伸 1万2,000円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2011年 8月号	600円/t上伸 1万1,000円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2011年 8月号	700円/t上伸 1万1,100円	6月15日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2011年 8月号	600円/t上伸 1万1,500円	6月12日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2011年 8月号	400円/t上伸 1万1,400円	6月15日		ややひっ迫	強含み
		南相馬	2011年 9月号	400円/t上伸 1万1,550円	6月15日		ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	18 ～ 41	異形棒鋼	6月15日	マンションや物流倉庫の建設需要は引き続き堅調で、需要は当面、底堅いとみられている。関東地区の電炉メーカーは、電気料金の値上げを受け入れており、製造コストは上昇している。一方で、欧州の経済不安を背景に、原料の鉄屑価格は続落基調で推移している。鉄屑価格の下げ止まり要因が乏しい中、数量指向による流通側の売り腰は引き締まりに欠き、市況は弱含みに転じている。	やや緩和	弱含み
	セメント	72	セメント(バラ)	6月15日	【低熱セメント】 太平洋セメントでは、大船渡工場の被災により、今年4月から上磯工場(北海道北斗市)などから供給を開始している。他メーカーとの応援供給体制も継続しており、供給懸念は解消される方向に進んでいる。また、大船渡工場では6月に特殊セメントの生産試験を行い、7月には低熱セメントの生産を再開する予定。出荷の再開は、今年度下期までに実施との計画になっている。	均衡	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	6月8日	供給体制は平常通りとなっている。需要は落ち着いてきているが、入荷量も減少しており、需給バランスは均衡している。産地高を受けて、販売側は売り腰を強めており、規格によっては品薄な製品も出てきている。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	6月8日	国や宮城県、建設業団体などでつくる「建設資材対策東北地方連絡会」による予測では、木材不足の声は聞かれず、供給能力に問題は無い。現時点での材料の供給は安定している。	均衡	横ばい
		230 ～ 237	一般建築用 木材	6月8日	仙台市を中心に荷動きが好調な反面、依然として大工職人の不足の問題は解消されておらず、基礎工事の遅れや加工物件の延期が表面化している。材料の供給に支障は生じていない。	均衡	横ばい
	石油製品	250～252	石油製品	6月15日	欧州債務問題の再燃による原油下落と円高を背景に、元売卸価格は引き下げられ市況は下落した。 JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻った。元売各社は減産や製油所の定期修理を実施し、市中への供給量を減らしているが、実需の不振から、需給は引き締まりを欠いている。	やや緩和	弱含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	6月15日	東北地区では震災復興工事向けの引き合いが増えてきたものの、現時点では供給能力に問題はない。 被災地以外の供給は平常どおり。	ややひっ迫	横ばい
		260 264	ブルーシート 土のう	6月15日	メーカー、販売店は東日本大震災以降、ブルーシート、土のうの在庫を積み増しており、供給能力に問題はない。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	6月15日	需要は復旧作業向けが中心になってきている。資材運搬等のためのダンプトラックの需要は依然多く、他県からの搬入も見られる。 建設機械・器具については、復旧復興工事向けの引き合いが増えてきており、クレーン関係を中心に稼働率は上昇している。	ややひっ迫	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	6月15日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 福島県、宮城県を中心に震災復興向け需要により荷動きは活発化しており需給はひっ迫している。供給側は今後、復興需要本格化に伴い供給不足になる可能性があるものと見ている。 一方、東北地方への供給も想定される関東地方は、圏央道など道路新設工事や民間工事などが好調に推移しており、首都圏内需要だけでも荷動きは好調に推移している。先行き、需給は復興需要本格化に伴い、よりタイト化する見通し。 【敷き鉄板】 東北地方は福島県、宮城県を中心とした震災復興向けの需要により荷動きは好調。需給はややひっ迫しているものの、潜在的な供給量が豊富なことから、先行き、需給は現状のままで推移する見通し。関東地方は官民とも需要は好調で荷動きも活発。東北での震災復興需要も見込めるものの、運搬経費などを考慮すると東北地方からの引き合いは限定的と見る動きが多く、先行き、需給はややひっ迫した状況で推移する見通し。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	6月8日	JXエネルギー仙台製油所およびコスモ石油千葉製油所とも復旧しており、供給体制は震災前の状況に戻っている。 被災地域における需要が旺盛な一方で、関東以西の需要は伸び悩んでおり、結果として需給は均衡している。 市況は、3月末まで続いた原油高による調達コストの上昇を背景とした値上げが浸透し、全国的に市況は上伸した。一方で、国際原油価格は下げに転じており、国内調達コストの下落も見込まれ、先行きは弱含み横ばいの見通し。	均衡	弱含み横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	6月8日	被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼働を再開しており、全品目について供給は平常通りとなっている。被災地区の需要は好調であるものの、メーカーの減産は進まず、全国的に在庫量が増加している。需要家は先安観から当用買いに徹しており、荷動きは鈍化、需給は緩和状態となっており、市況は下落を示した。先行きもしばらくは弱含みで推移する見通し。	緩和	弱含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	6月7日	復興需要向けの荷動きは堅調ながら民間需要が中心。本格的な震災復興需要については、依然、目処がたっていないこともあり、メーカーでは平常どおりの生産体制。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能となっている。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	6月8日	下水関連で荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先であり、いまのところ供給体制に問題はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	6月8日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系の鉄筋工事は、年度末から沿岸部の工事発注が大量に出てきており、工事量が増加する兆しを見せている。しかし、まだ実際の施工段階には至っていないため、年度末の最盛期より落ち着いている状況。現在は、内陸部の災害復旧工事や一般構造物(河川、道路、橋梁、擁壁など)の新設・補修工事を中心となっている。 こうした中、鉄筋工の労務不足はいまだに深刻で、賃金の上昇とともに、他地区からの調達に伴う経費等も嵩んでいる状況。専門工事業者側の値上げ要請も根強く、強含み推移が続いている。 当面、本格化する復興工事の需要と慢性的な鉄筋工の不足を背景に、強含みでの推移が続こう。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	414 ~ 417	6月12日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、昨年度末より復旧工事が本格的に始まり、コンクリート構造物の製作工事も増加傾向にある。 引き続き懸念されている鉄筋工等の技能労働者不足については、復旧工事のほか新幹線工事も重なり、大きな改善の兆しは見えない。しかし、施工業者は遠方から調達するなどし労働者確保に努めており、現在はやや落ち着きを見せている。 今後も復旧工事が進む中、賃金水準の上昇とともに工事費相場は強含みで推移する公算が大きい。	ひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	422 ~ 425	6月8日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、引き続き震災復旧工事が数多く発注されており、港湾工事市場単価の工種に該当するような、ケーソン製作や上部コンクリート製作なども増加傾向にある。 そのような状況の中、労務調達については現在、やや落ち着きを見せている。一方、型枠材については自社保有分では需要を賄えないことなどから、リース品の使用を余儀なくされるケースが増加しており、宮城県においては特に、調達コストの上昇を招いている。 このため、宮城県における型枠工事相場は上伸傾向にある。当面、被災三県における状況は変わらないと見られており、今後についても強含みで推移しよう。	ひっ迫	強含み

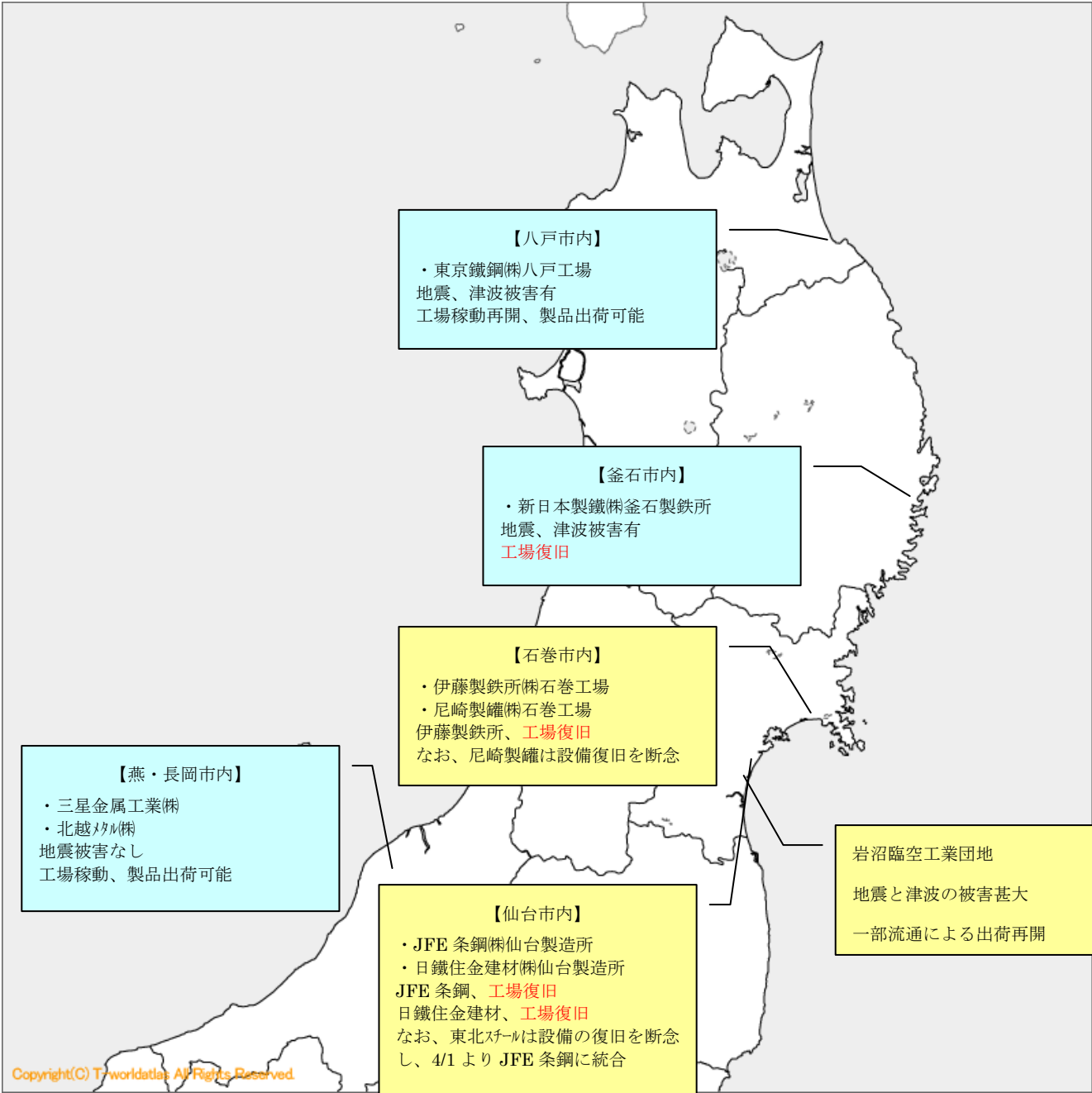
東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	6月8日	沿岸部では、倉庫や水産加工場などの物件が見られ始め、内陸部では、病院や学校関連、マンションや事務所ビルなどの新設工事や補修工事、耐震改修工事など需要は堅調に推移している。専門工事業者側では、慢性的な職人不足に対し、周辺地域や他県からの協力体制が見られ、総合工事業者側では、依然として職人確保の姿勢を強めている。市況は、強含み。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	6月8日	沿岸地域では、水産加工の工場や冷蔵倉庫等の建設が始まっており、また、市内中心部においては、住居・オフィスビルの改修工事や、新築工事案件が動き出している。型枠工の不足が依然として改善されない中、工事需要の好調は続き、需給のひっ迫はしばらく続く見込み。専門工事業者は職人確保のため、他地域からの応援を受けて対応する場合もあり、コスト高から値上げ要求を強めている。総合工事業者側でも、工期との兼ね合いもあり、これを受け入れている状況で、市況は引き続き強含みで推移している。	ひっ迫	強含み

鉄鋼製品工場稼働マップ (2012.6.15 現在)

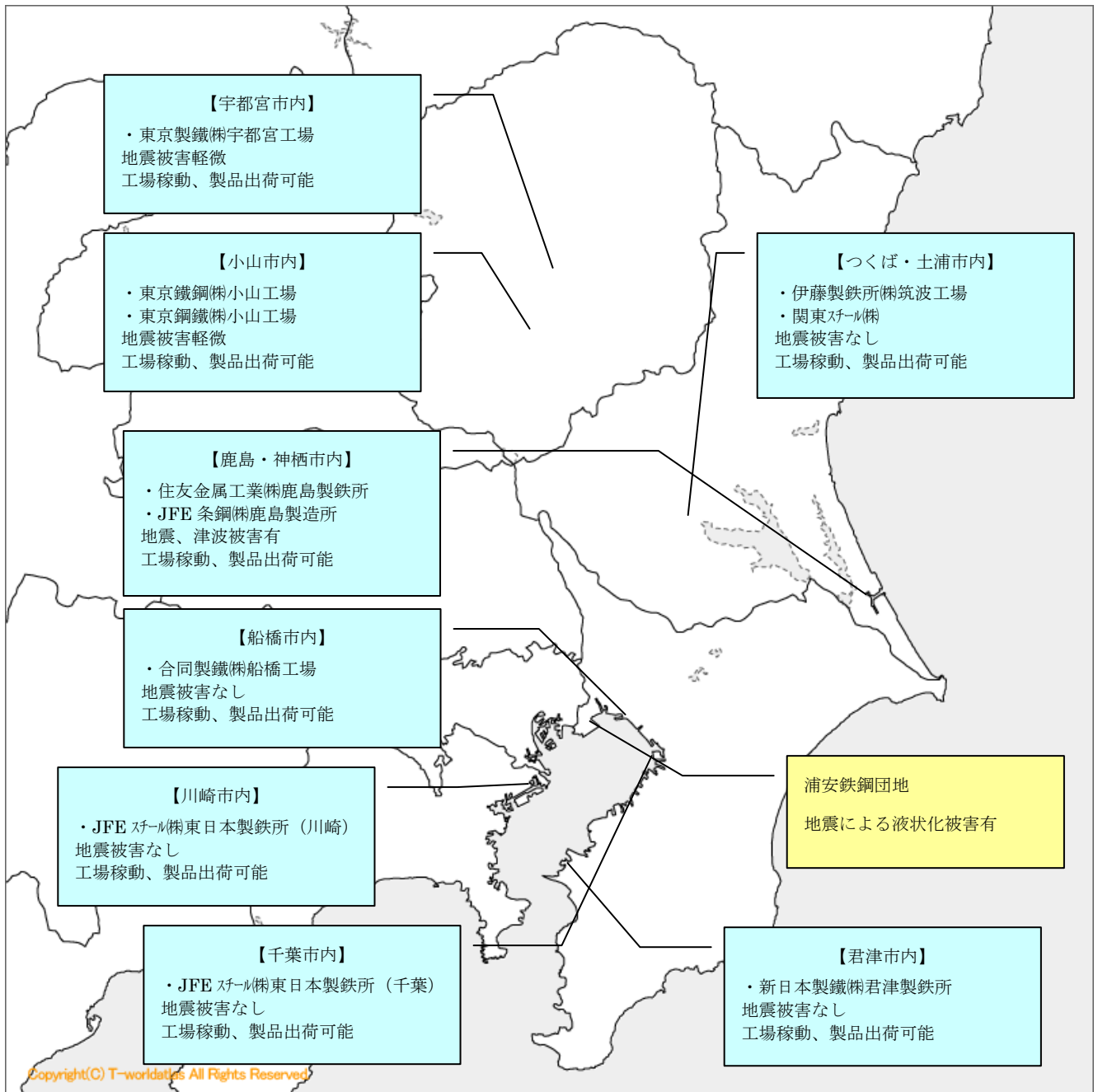
東北・北陸地区



Copyright(C) T-worlddata All Rights Reserved

	工場稼働、製品出荷可能
	工場一部稼働、製品出荷一部可能
	工場停止、製品出荷不能

関東地区



	工場稼働、製品出荷可能
	工場一部稼働、製品出荷一部可能
	工場停止、製品出荷不能